

救 急 概 要

平成26年中の救急出場件数は14,781件（昨年比632件 4.5%増）、搬送人員は14,000人（昨年比632人 4.7%増）でありました。

この件数を1日平均にすると、40.4件出場し、38.3人を搬送しております。また、約35.6分に1回の割合で救急隊が出場したことになり、搬送人員を管内人口の割合で見ると約21.8人に1人が搬送されたことになります。

救急件数14,781件（うち不搬送1,022件）のうち、救急救命士が心肺停止の傷病者に対し医師の指示の下に行う特定行為（器具を用いた気道確保「気管・食道挿管」除細動、輸液、薬剤投与）を施行した件数は253件（昨年比－15件5.6%減）であります。

また、平成26年4月から救急救命士が行う救急救命処置の範囲が拡大し、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が可能となりました。

心肺停止前の傷病者に対し医師の指示の下に行う特定行為である静脈路確保及び輸液を施行した件数は73件、ブドウ糖溶液の投与を施行した件数は13件であります。

救 助 概 要

平成26年中の救助件数は228件（昨年比7件 3.2%増）、救助人員は81人（昨年比13人 19.1%増）であります。

